

2024年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研究（本年度のみ）

ふりがな	こじま りさ				
教員氏名	小島 理沙	職 位	教授	学 位	博士
アルファベット表記	Risa Kojima				
専門分野		環境経済学 資源循環			
研究課題	テーマ	食品廃棄物、プラスチック製廃棄物の資源循環			
	概要	サーキュラーエコノミー			
本年度 研究業績	研究テーマ	食品廃棄物の削減、資源循環とサーキュラーエコノミー構築			
	経過と到達点	2024年度は、家族看病・死別のためあまり進展せず			

（1）学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文	廃棄物の発生抑制 効果の定量分析レ ビュー	2025年3 月	単著	オペレーション ズ・リサーチ誌 3月号特集	（招待論文） 廃棄物をどのよう に減らしていくのか。特に一般廃棄 物の減量化施策に焦点を当て、これ まで実施されてきた具体的な対策 とその効果を解説。
⑤紀要論文					
⑥紀要研究 ノート、専門 誌記事等	フードドライブと は？	2024 年 4月4日 配信	単著	SDGs ACTION! (朝日新聞) WEB 記事	目的や参加、実施手順、課題、 取り組み事例を紹介
	食品リサイクル法 とは？	2024年5 月 30 日 配信	単著	SDGs ACTION! (朝日新聞) WEB 記事	対象となる事業者や罰則、取り 組む内容を紹介
	サーキュラーエコ ノミーと ICT	2024年7 月	単著	月刊廃棄物 7月号	ICT と循環経済との関係性を考 察
	食品ロス・廃棄物 対策の次のステー ジは？	2024 年 10 月	単著	月刊廃棄物 10月号	目標達成した食品ロス対策の 次の目標について

	3 R すべてを一括 実践する取り組み	2024 年 11 月	単著	月刊廃棄物 11 月号	長野県諏訪市にあるリビルデ ィングセンタージャパンの取 り組みの紹介と評価
⑦学会での 口頭発表、討 論者(ディス カッサント)					

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・ 共訳書				
⑨単著書・ 単訳書				

(3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)				
⑪単独研究				
⑫共同研究 (分担研究)				
⑬科学研究 助成事業(日 本学術振興 会)申請	※ 申請した場合は「申請」と記入。			

2. 教 育 (本年度のみ)

担当科目		前 期	後 期
		科目名	科目名
	講義	キャリアプランニングⅠ	キャリアプランニングⅢ
	演習	ESD 演習 1・2 (前期集中)	社会コミュニケーション入門
	演習	基礎ゼミ・ゼミⅡ	ゼミⅠ・Ⅲ
	実習	プロジェクト演習 (前期集中)	
教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目 投資、お金などの金融教育を追加 ノートの板書を必須にし、全員の提出、板書状況の確認を毎回行った。		
	◆ 演習科目 本学では、キャリア教育として、短大ゼミでは2コマ実施 専門内容を1回生に輪読 また、神戸大学では、六甲山の森林資源活用や食品リサイクルループの実現に向けた現地調査と分析、神戸市への政策提案を実施		

	実習科目 本学でのキャリア教育方法の開発。
	◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。）

(1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	神戸市の高度資源回収拠点（神戸市中央区）の見学（2025年2月6日）

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

(1) 公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	伊丹市廃棄物減量等推進審議会 会長
	豊中市廃棄物減量等推進審議会 会長
③委員・アドバイザー 国・国際機関	
④委員・アドバイザー 上記以外	姫路市環境審議会委員
	姫路市新美化センター整備基本計画検討委員会委員
	姫路市農林水産環境局指定管理者選定委員会委員
	大阪府環境審議会委員
	堺市廃棄物減量等推進審議会委員
	京都市廃棄物処理施設設置等検討会議 委員
	神戸市環境保全審議会委員
	明石市環境審議会委員
	大阪市廃棄物減量等推進審議会委員
	高槻市廃棄物減量等推進審議会委員
	豊中市環境審議会 委員
	日本包装学会編集委員会委員

(2) 学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	日本包装学会 理事

(3) 講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者・学会座長	Economics of waste and solution from private sector JICA Program Design of Recycling System Monday, January 20, 2025, JICA Tokyo

4. 特記事項（本年度のみ）

査読（日本包装学会）
